

令和6年度 第2回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

1 開 会

2 委員紹介

3 館長あいさつ

4 議 事

(1) 令和6年度考古博物館経過・予定事業について

(2) 令和7年度考古博物館予定事業について

(3) 考古博物館利用状況について

(4) その他

令和8年度特別展について

5 閉 会

令和7年2月27日(木)

山梨県立考古博物館

資 料 目 次

(1) 令和6年度 考古博物館事業経過・予定事業について

1	展示活動	1 ~ 2
2	学習会・講座など	2 ~ 4
3	イベント	4 ~ 5
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	6
5	古代衣装貸出	6
6	学芸員・教育主事によるガイドの実施	6
(参考)	ものづくり教室参加者数	7

(2) 令和7年度 考古博物館予定事業について

1	展示活動	8 ~ 9
2	学習会・講座など	9 ~ 10
3	イベント	10 ~ 11
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	11
5	古代衣装貸出	11
6	学芸員・教育主事によるガイドの実施	12

(3) 考古博物館の利用状況について

1	利用者状況	13
2	常設展観覧者数過年度比較	14
3	学校関係利用状況	15
4	外国人利用者数	17

(4) その他

令和8年度特別展について	資料なし
--------------------	------

◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	18 ~ 21
-------------------------------	---------

(1) 令和6年度 考古博物館事業経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第41回特別展「縄文時代の不思議な道具展」

会 期： 9月28日（土）～11月24日（日）

開催日数52日

会 場：当館

入館者：6,259人

概 要： 縄文時代にはミニチュアの土器や土製の石器、動物や植物の土製品など用途不明な不思議な道具が作られていました。これらは祈りやマツリのための道具、遊びの道具と考えられますが、その用途の多くはまだ解明されていないものがあります。縄文人が何を考え何に使おうとしたのか、モノの名前を付けるとしたらどんな名前がいいのか。縄文時代の子どもになったつもりで想像力をかきたたせ、縄文ファンタジーに誘うことをねらいとした企画展です。

(2) 企画展

① 春季企画展『重要文化財指定25周年記念 一の沢遺跡出土品展』

会 期： 4月20日（土）～ 6月16日（日）

開催日数51日

会 場：当館多目的室

入館者：5,686人

概 要： 笛吹市一の沢遺跡出土の重要文化財指定品全てを25年ぶりに全品を一斉公開します。修復後の全品公開は初となります。中部高地に栄えた縄文時代中期の井戸尻式文化の代表的な資料から山梨の縄文資料の魅力に迫りました。

② 夏季企画展『呪（まじな）いの世界展』

会 期： 7月13日（土）～ 9月 1日（日）

開催日数45日

会 場：当館多目的室

入館者：7,027人

概 要： 呪（まじな）いという人々の祈りの世界を山梨県から発見された考古資料を通して紹介していきます。古来より自然災害や病気といった災いを克服していくために、人々はどんな道具を使ってきたのかを紹介しました。

③ 新年干支展『巳（み）』

会 期： 1月 2日（木）～ 1月26日（日）

開催日数17日

会 場：当館エントランスホール

入館者：796人

④ 『第22回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月25日（土）～ 2月23日（日）

開催日数26日

会 場：当館多目的室

入館者：

⑤ 『富士山ミニ展示』

会 期： 2月 1日（土）～ 2月24日（月）

開催日数21日

会 場：当館エントランスホール

入館者：

⑥ 『風土記の丘望見展』

会 期： 2月 1日（土）～ 3月30日（日）

開催日数50日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

入館者：

⑦ 『山梨の遺跡発掘展2025』

会 期： 3月 1日（土）～ 3月30日（日）

開催日数26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

入館者：

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「地域の魅力を考古学で語る」をテーマに開催しました。県内の研究者を招き、テーマ毎に地域の魅力を紹介する機会としました。全5回

第1回 6月15日（土）「いっちゃんとわたしー5千年後の運命の出会い」

講師：中山 誠二（南アルプス市ふるさと文化伝承館 館長）

参加者39名

第2回 6月29日（土）「水晶考古学の最前線」

講師：一之瀬 敬一（当館学芸員）

参加者46名

第3回 7月13日（土）「縄文時代のヒスイ利用を考える

ー主に中部高地の事例からー」

講師：林 亮太（釈迦堂遺跡博物館 学芸員）

参加者44名

第4回 7月27日（土）「弥生壺とわたし」

講師：鷹野 あきこ（山梨県埋蔵文化財センター 文化財主事）

参加者30名

第5回 8月24日（土）「愉しみを醸す土器」

講師：小澤 英幸（南アルプス市教育委員会 主任・文化財主事）

参加者48名

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介します。

第1回 6月 2日（日） 「縄文時代の黒曜石採掘坑と世界の採掘坑」

参加者 75名

第2回 9月 1日（日） 「縄文時代の環状列石とストーンヘンジ」

参加者130名

第3回 12月 8日（日） 「縄文時代に戦争はあったか」 参加者 85名

第4回 3月16日（日） 「パプアニューギニアの土器製作から見た縄文土器」

参加者

(3) 特別展記念講演会

第 41 回特別展『縄文時代の不思議な道具展』の開催を記念して、会期中に 3 回の基調講演会を実施し、特別展への理解を深める機会としました。

・場 所 風土記の丘研修センター（ネット同時配信）

・開催日

第 1 回 10 月 6 日（日） 中部大学講師 長田 友也

「中部高地の精神文化」 参加者 106 名

第 2 回 10 月 27 日（日） 佐倉市文化課 学芸員 小倉 和重

「千葉県下の異形土製品」 参加者 128 名

第 3 回 11 月 24 日（日） 当館 館長 高橋 龍三郎

「動物形土製品の社会的機能と役割ー氏族制社会からの照射ー」

参加者 174 名

(4) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）

第 1 回 4 月 28 日（日）「古墳時代の勾玉の首飾づくり」

参加者 53 名

第 2 回 5 月 26 日（日）「縄文時代の女神いっちゃんをつくろう」

参加者 43 名

第 3 回 6 月 9 日（日）「戦国時代の紙漉きでうちわづくり」

参加者 34 名

第 4 回 7 月 21 日（日）「縄文と弥生の土笛づくり」

参加者 34 名

第 5 回 8 月 18 日（日）「縄文時代の火起こし器を作って火を起こそう」

参加者 48 名

第 6 回 9 月 15 日（日）「江戸時代の藍染め」

参加者 49 名

第 7 回 10 月 6 日（日）「弥生時代の石包丁づくり」

参加者 34 名

第 8 回 11 月 10 日（日）「縄文時代の石製耳飾のペンダントづくり」

参加者 34 名

第 9 回 12 月 8 日（日）「縄文と干支の土鈴づくり」

参加者 35 名

第 10 回 1 月 12 日（日）・2 月 2 日（日）「縄文土器をつくって焼き上げよう」

参加者 44 名

第 11 回 2 月 16 日（日）「縄文時代のかごづくり」

参加者 名

第 12 回 3 月 2 日（日）「縄文風陶器づくり」

参加者

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）

第 1 回 4 月 20 日（土）・21 日（日） 「トンボ玉作り」

参加者 4 名

第 2 回 5 月 18 日（土） 「縄文風陶器作り」

参加者 12 名

第3回	6月 8日(土)・15日(土)	「一の沢遺跡の土偶作り」	参加者 11名
第4回	7月20日(土)	「草木染め体験」	参加者 12名
第5回	8月24日(土)	「青銅器作り～ミニミニ銅鐸～」	参加者 8名
第6回	9月21日(土)	「網代編みのカゴ作り」	参加者 15名
第7回	10月26日(土)	「干支(巳)の土鈴とミニチュア土器作り」	参加者 11名
第8回	11月16日(土)・17日(日)・12月7日(土)	「小形彩文土器作り」	参加者 12名
第9回	1月11日(土)・18日(土)・2月 2日(日)	「縄文土器作り」	参加者 12名
第10回	2月 8日(土)・ 9日(日)	「青銅鏡形チョコレート作り」	参加者
第11回	3月 8日(土)	「古代遺物の石けん作り」	参加者

3 イベント

(1) 第35回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

参加者: 4,874名

5月3日(金・祝)・4日(土・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しました。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- | | | | |
|---|----------------|-----------------|----------|
| ① | 11月20日(水) | 『県民の日イベント』 | 参加者 351名 |
| ② | 1月 2日(木)・3日(金) | 『お正月イベント』 | 参加者 215名 |
| ③ | 3月 9日(日) | 『考古博物館 de 春まつり』 | 参加者 |

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理と共催)

- | | | | |
|---|--------------------|----------------|------------|
| ① | 6月29日(土)～ 8月10日(土) | 『風土記の丘で七夕飾り』 | 参加者 151名 |
| ② | 6月29日(土)・30日(日) | 『山梨の七夕人形を作ろう』 | 参加者 27名 |
| ③ | 9月 7日(土) | 『方形周溝墓で星を見る会』 | 参加者 46名 |
| ④ | 10月13日(日) | 『秋のふれあいまつり』 | 参加者 1,792名 |
| ⑤ | 11月 4日(月・祝) | 『樹木と古墳のガイドツアー』 | 参加者 19名 |
| ⑥ | 11月23日(土・祝) | 『落ち葉で焼きいも』 | 参加者 170名 |

⑦ 1月13日（月・祝）

『古代米でもちつき』

参加者 507名

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

日 時：7月15日（月・祝）

会 場：アイメッセ山梨 参加者約 7,000名

(5) 第22回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日 時：1月25日（土）

会 場：考古博物館エントランスホール 参加者 77名

(6) 縄文王国山梨

特別展記念講演会配信を縄文王国山梨 YouTube チャンネルで実施

(7) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業）

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施しています。（1月末日現在）

① 火起こし体験 参加者 3,769名

② 勾玉作り 参加者 1,999名

③ 土鈴、石包丁、青銅鏡作り 参加者 257名

(8) 埋蔵文化財センターによる出張展示

① マチナカ博物館による外部出張展示を実施

8月11日（日・祝） 会場：甲府城跡

参加者 510名

（小江戸甲府の夏祭りにて日本遺産を紹介）

② マチナカ博物館2による外部出張展示を実施

12月 1日（日）

会場：金精軒菰崎店

参加者 133名

（Jomon Sweets Festival2024にて縄文資料を紹介）

③ 山の洲文化財交流事業による出張展示を実施

1月13日（月・祝） 会場：長野県立美術館

参加者 40名

（「こうこがく、考古楽一体験して学ぶ考古学」を開催）

④ マチナカ博物館3による外部出張展示を実施

3月 1日（土）

会場：甲府駅北口よっちゃばれ広場

(9) 観光・地域活性化に向けた取り組み

① ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘」

② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

(10) 海外博物館との交流

新北市立十三行博物館（台湾(中華民国)）

4月18日（木） 2024 新北市国際考古学フォーラムにて動物をテーマとして発表

参加者：145名

4月20日（土）・21日（日）

2024 新北市考古生活フェスティバルにてワークショップの対応。

青銅鏡作りと土器のVR体験

参加者総数：38,000名

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

- (1) 学芸員実習 7月25日(木)～8月4日(日)
- | | |
|------------|----|
| 都留文科大学教養学部 | 1名 |
| 都留文科大学文学部 | 1名 |
- (2) 職場体験 学校向け
- | | |
|------------------------------|----|
| 7月23日(火)・24日(水) 甲府市立西中学校 | 2名 |
| 7月23日(火)・24日(水) 甲府市立南中学校 | 1名 |
| 7月23日(火)・24日(水) 甲府市立城南中学校 | 1名 |
| 8月 6日(火) 南アルプス市立甲西中学校 | 1名 |
| 8月 7日(水)・ 8日(木) 南アルプス市立若草中学校 | 1名 |
| 8月 7日(水)・ 8日(木) 甲府市立富竹中学校 | 1名 |
| 8月15日(木)・16日(金) 笛吹市立浅川中学校 | 1名 |
| 8月20日(火)・21日(水) 甲府市立北東中学校 | 4名 |
| 8月27日(火)・28日(水) 笛吹市立一宮中学校 | 1名 |
- (3) インターンシップ
- | | |
|-------------------------------|----|
| 8月12日(月・祝)・13日(火) 山梨県立甲府南高等学校 | 1名 |
|-------------------------------|----|

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。
主に学校、団体向けに貸出。

4月 4日(木)～ 5月 3日(金・祝)	茅ヶ崎市小出地区まちぢから協議会
4月30日(火)～ 5月24日(金)	県立富士見支援学校
6月29日(土)～ 7月27日(土)	富士河口湖町立大石小学校
8月 2日(金)～ 8月 6日(火)	山梨市ユネスコ協会
9月 3日(火)～10月 2日(水)	県立特別支援学校うぐいすの杜学園
11月14日(木)～12月14日(土)	県立わかば支援学校

6 学芸員・教育主事によるガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施(1月末日現在)。

学校(県内77校・県外45校)	122校
一般	36団体

(参考) ものづくり教室参加者数 (市町村別)
※アンケート回答者のみ集計

			R6年度 (R7年1月末)	
			ものづくり教室 ～チャレンジ博物館～	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～
国 中	1	甲府市	40	18
	2	山梨市	8	1
	3	韮崎市	6	6
	4	南アルプス市	29	8
	5	北杜市	15	8
	6	甲斐市	36	7
	7	笛吹市	10	11
	8	甲州市	5	1
	9	中央市	2	
	10	市川三郷町	2	
	11	早川町		
	12	身延町		
	13	南部町	2	1
	14	富士川町	3	1
	15	昭和町	5	2
郡 内	16	富士吉田市	4	
	17	都留市	10	
	18	大月市		3
	19	上野原市	1	
	20	道志村		
	21	西桂町		
	22	忍野村	6	
	23	山中湖村		
	24	鳴沢村		
	25	富士河口湖町	4	1
	26	小菅村		
	27	丹波山村		
県 外	28	県外	3	15
		合計	191	83

(参考) 県内利用者のうち国中・郡内・県外比率

			R6年度 (R7年1月末)	
			ものづくり教室 ～チャレンジ博物館～	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～
国中地域			163	64
			(85%)	(77%)
郡内地域			25	4
			(13%)	(5%)
県外			3	15
			(2%)	(18%)
合計			191	83

(2) 令和7年度 考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える-パプアニューギニアの民族誌一展」

会 期： 9月27日（土）～12月 7日（日） 開催日数65日

会 場：当館展示室

共 催：早稲田大学

後 援：パプアニューギニア大使館、国際機関太平洋諸島センター

概 要： 早稲田大学に収蔵されるオセアニア資料を基に、同大学考古学研究室が長期にわたり調査したパプアニューギニアの資料を加え、儀礼・精神文化が深く関わる土器の型式成立と変化を縄文土器に照らし併せて、その類似性から縄文時代の謎に迫る企画展です。国内の著名な遺跡から出土品と共に紹介します。

(2) 企画展

① 春季企画展『帆立貝古墳のミステリー - 三珠大塚古墳と甲府盆地の5世紀一展』

会 期： 4月19日（土）～ 6月15日（日） 開催日数50日

会 場：当館多目的室

共 催：市川三郷町

概 要： 市川三郷町に存在する県指定史跡大塚古墳出土品の有形文化財指定品全てを町の再整理事業に合わせて全品を一斉公開します。『宋書』の「倭国伝」などに登場する「倭の五王」の時代、山梨の古墳時代中期の謎に迫ります。

② 夏季企画展『釣手(つりて)土器の世界展』

会 期： 7月12日（土）～ 8月31日（日） 開催日数45日

会 場：当館多目的室

概 要： 学史的には香炉形土器などとも称されている釣手土器は、口縁部に把手が付き、火を用いた呪（まじな）いの道具として用いられたと考えられています。山梨県を中心とした縄文時代中期の遺跡から発見されている不思議な形の土器を一堂に会し紹介していきます。

③ 新年干支展『午（うま）』

会 期： 1月 2日（金）～ 1月25日（日） 開催日数16日

会 場：当館エントランスホール

④ 『第23回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月31日（土）～ 2月22日（日） 開催日数19日

会 場：当館多目的室

⑤ 『風土記の丘望見展』

会 期： 1月31日（土）～ 4月 5日（日） 開催日数55日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑥ 『山梨の遺跡発掘展2026』

会 期： 3月 7日（土）～ 4月 5日（日）

開催日数26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「遺跡発掘秘話」をテーマとして、県内の著名な遺跡の発掘者をお呼びし、発掘時のエピソードを交えて、遺跡の魅力を紹介する機会とします。第4回は発掘者と学芸課長との対談型式で実施します。

第1回 6月14日（土） 講師：身延山大学 講師 保坂康夫

「北杜市丘の公園遺跡群発掘秘話」

第2回 6月28日（土） 講師：山梨県考古学会 会長 新津 健

「北杜市金生遺跡発掘秘話」

第3回 7月12日（土） 講師：山梨県考古学会 名誉会長 末木 健

「甲斐市金の尾遺跡発掘秘話」

第4回 7月26日（土） 山梨県埋蔵文化財センター 元調査研究課長 小林広和

山梨県立考古博物館 学芸課長 野代幸和

「甲州市安道寺遺跡発掘秘話対談」

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介します。

第1回 6月 8日（日） 「石器時代に最も近い国パプアニューギニア」

第2回 9月 7日（日） 「オセアニア民族誌と考古学」

第3回 12月 7日（日） 「科学で読み解く縄文社会」

第4回 3月22日（日） 「縄文土器を作った人々の心象世界」

(3) 特別展記念講演会

第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える-パプアニューギニアの民族誌一展」開催を記念して、講演いただきます。

会期中に基調講演会と座談会を実施して、特別展への理解を深めます。

・場 所 風土記の丘研修センター（ネット同時配信予定）

・基調講演

高橋館長「パプアニューギニアの民族誌の調査」

・講演会・座談会

中門亮太（早稲田大学准教授）「オセアニアの民族造形」

平原信崇（千葉県教育庁文化財課）「縄文土器とパプアニューギニアの土器作り」

根岸 洋（東京大学准教授）「パプアニューギニアの考古学」

(4) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）
（子供・親子向けイベント）

- 第1回 5月11日（日）「古墳時代の大きな勾玉のペンダントづくり」
- 第2回 6月 1日（日）「古墳時代の埴輪をつくろう」
- 第3回 7月 6日（日）「戦国時代の紙漉きでうちわづくり」
- 第4回 8月 3日（日）「縄文風陶器づくり」
- 第5回 8月24日（日）「弥生時代の矢じりのペンダントづくり」
- 第6回 9月14日（日）「江戸時代の藍染め」
- 第7回 10月 5日（日）「縄文時代の土面づくり」
- 第8回 11月 9日（日）・30日（日）「縄文土器を作って焼き上げよう」
- 第9回 12月 7日（日）「縄文と干支の土鈴づくり」
- 第10回 1月25日（日）「火起こし器をつくって火を起こそう」
- 第11回 2月15日（日）「弥生時代の土笛づくり」
- 第12回 3月 1日（日）「縄文の土偶づくり」

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）
（大人・親子向けイベント）

- 第1回 4月19日（土）・20日（日） 「蜜柑玉・トンボ玉作り」
- 第2回 5月24日（土） 「埴輪（巫女形）作り」
- 第3回 7月19日（土） 「青銅器作り～蕨手刀形ペーパーナイフ～」
- 第4回 8月23日（土） 「コーヒー染めのエコバック作り」
- 第5回 9月27日（土） 「貝を使ったパプア風ネックレス作り」
- 第6回 10月25日（土） 「パプア風顔面装飾土器作り」
- 第7回 11月15日（土） 「干支（午）の土鈴と陶器作り」
- 第8回 12月20日（土）・1月10日（土）・31日（土） 「縄文土器作り」
- 第9回 2月 7日（土）・ 8日（日） 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 第10回 3月14日（土） 「石製ペンダント作り」

3 イベント

(1) 第36回風土記の丘こどもまつり（公園管理者と共催）

5月3日（土・祝）・4日（日・祝） 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- ① 11月20日（木） 『県民の日イベント』
- ② 特別展期間中 『特別展関連イベント』
- ③ 1月 2日（金）・3日（土） 『お正月イベント』
- ④ 3月 8日（日） 『考古博物館 de 春まつり』

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント（公園指定管理と共催）

- ① 6月21日（土）～ 7月6日（日） 『風土記の丘で七夕飾り』

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| ② | 7月5日(土)・6日(日) | 『山梨の七夕人形を作ろう』 |
| ③ | 10月19日(日) | 『秋のふれあいまつり』 |
| ④ | 10月25日(土) | 『風土記の丘で星を見る会』 |
| ⑤ | 11月 3日(月・祝) | 『樹木医と学芸員のガイドツアー』 |
| ⑥ | 11月23日(日・祝) | 『落ち葉で焼きいも!』 |
| ⑦ | 1月12日(月・祝) | 『古代米でもちつき大会』 |

- (4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
会 場：アイメッセ山梨

- (5) 第23回わたしたちの研究室表彰式・発表会
日 時：1月31日(土)
会 場：考古博物館エントランスホール

- (6) 縄文王国山梨
特別展に合わせて連携イベントを計画中

- (7) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業）
団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。

- ① 火起こし体験
- ② 勾玉作り
- ③ 土鈴作り
- ④ 石包丁作り
- ⑤ トンボ玉作り（少人数限定）
- ⑥ 青銅鏡作り（少人数限定） など

- (8) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示
- ① マチナカ博物館による外部出張展示を予定
 - ② 山の洲文化財交流事業による外部出張展示を予定

- (9) 観光・地域活性化に向けた取り組み
- ① 考古博物館と周辺施設（直売所等）との連携事業
 - ② ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘」
 - ③ 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

- (1) 学芸員実習
- (2) 職場体験 学校向け
- (3) インターンシップ

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。
主に学校、団体向けに貸出予定。

- 6 学芸員・教育主事によるガイドの実施
学校見学、団体見学等において実施予定。

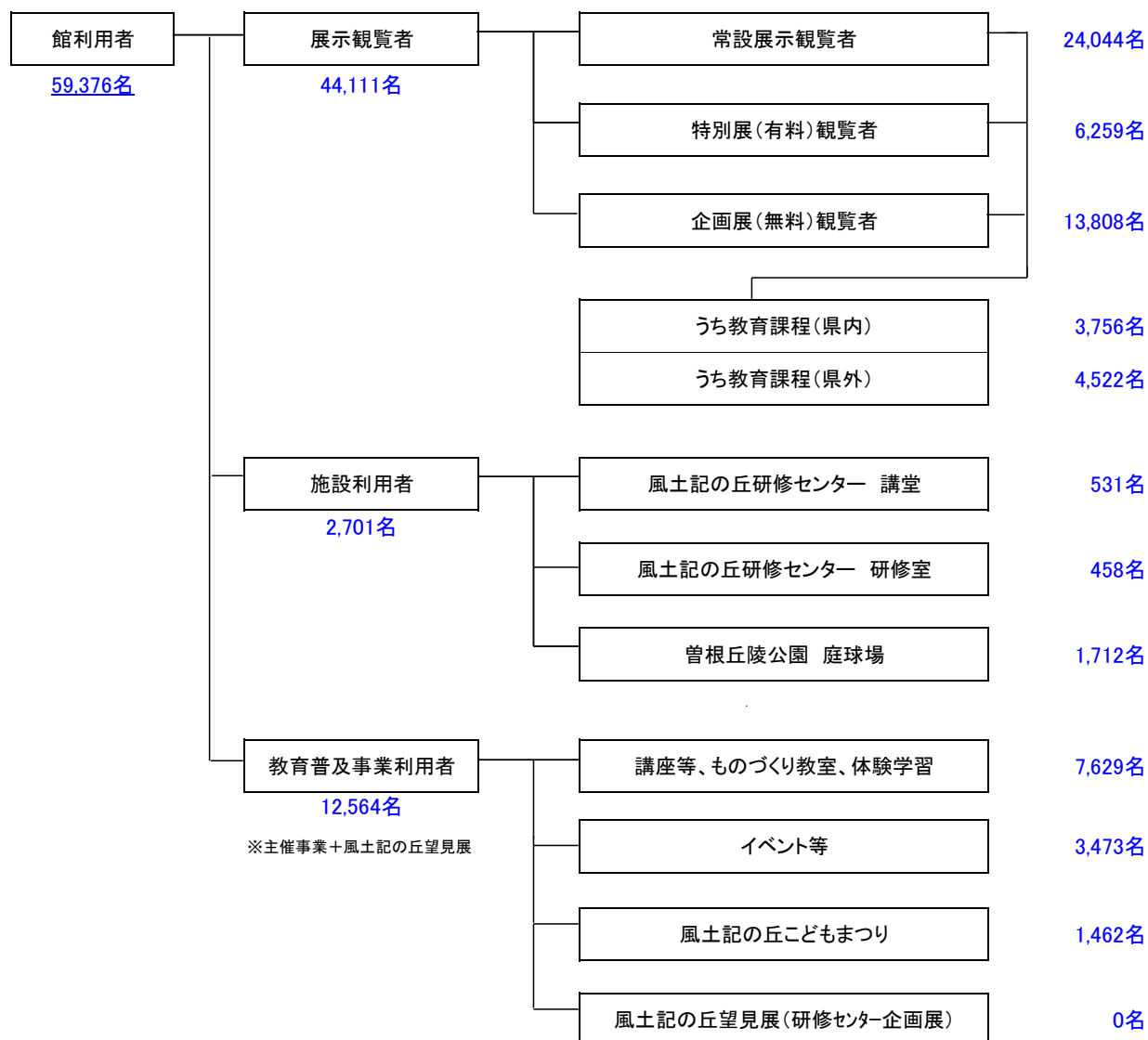
(3) 考古博物館の利用状況について

1 令和6年度 考古博物館における「利用者」の状況

※ 令和7年1月末現在

○ 考古博物館の利用者とは、考古博物館の施設、提供するサービスを利用した者および考古博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。

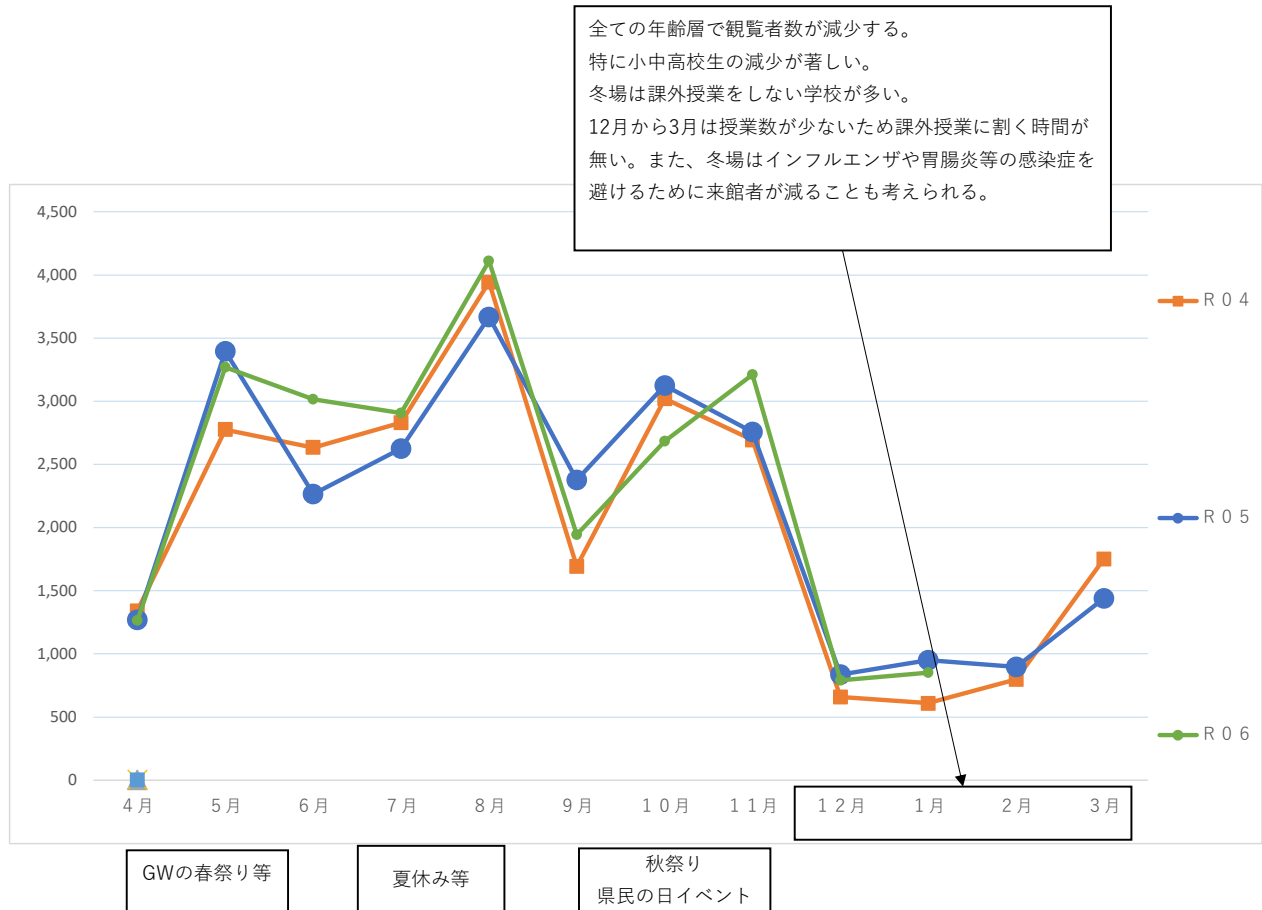
○ ここに示す利用者数は、令和7年1月末までの実績である。



2 常設展観覧者数過年度比較

単位：人

常設展 観覧者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月末 まで	合計
R 0 4	1,341	2,776	2,634	2,830	3,943	1,693	3,021	2,694	659	609	799	1,751	22,200	24,750
R 0 5	1,270	3,396	2,266	2,625	3,666	2,376	3,124	2,756	835	949	896	1,438	23,263	25,597
R 0 6	1,265	3,269	3,015	2,906	4,110	1,944	2,683	3,211	791	850			24,044	24,044



3 学校関係利用状況

令和7年1月末現在

県内＋県外 利用の状況	R6年度 (R7年1月末)		R5年度 (R6年3月末)		R4年度 (R5年3月末)	
施設利用 (常設展)	122件	6,708人	109件	5,496人	130件	7,034人
小学校	102件	5,404人	83件	3,877人	99件	4,748人
中学校	17件	509人	21件	942人	24件	1,294人
高校	3件	133人	5件	152人	3件	123人
その他 (児相など)	0件	0人	0件	0人	4件	184人
引率者	—	662人	—	525人	—	685人
職場体験	9件	13人	22件	42人	5件	9人
教材貸出 (古代衣装)	6件	—	9件	—	10件	—
合 計	137件	6,721人	140件	5,538人	145件	7,043人

3-1 学校関係利用状況

			人口	R6年度（R7年1月末）		R 5 年度		R4年度	
			R612	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国 中	1	甲府市	183,850	20	675	14	669	17	690
	2	山梨市	32,710	2	52	5	264	1	26
	3	韭崎市	27,803	4	204	3	178	4	185
	4	南アルプス市	71,733	5	147	3	63	2	63
	5	北杜市	45,387	4	148	3	57	7	190
	6	甲斐市	76,382	7	454	10	433	5	270
	7	笛吹市	66,871	2	40	0	0	2	111
	8	甲州市	29,091	3	102	0	0	6	247
	9	中央市	30,598	6	251	7	334	4	205
	10	市川三郷町	14,437	5	50	5	56	10	220
	11	早川町	861	0	0	1	11	0	0
	12	身延町	9,677	2	18	2	63	2	34
	13	南部町	6,769	4	46	2	27	0	0
	14	富士川町	13,926	1	81	1	77	1	102
	15	昭和町	21,387	1	79	1	29	1	29
郡 内	16	富士吉田市	46,375	0	0	1	17	0	0
	17	都留市	28,518	1	110	3	134	3	205
	18	大月市	21,317	0	0	0	0	2	71
	19	上野原市	21,214	1	22	1	23	0	0
	20	道志村	1,509	0	0	1	20	0	0
	21	西桂町	3,889	1	36	0	0	1	37
	22	忍野村	9,742	0	0	0	0	1	113
	23	山中湖村	5,822	1	10	2	32	2	31
	24	鳴沢村	3,059	0	0	0	0	0	0
	25	富士河口湖町	27,125	7	259	9	277	4	122
	26	小菅村	616	0	0	0	0	0	0
	27	丹波山村	501	0	0	0	0	1	8
県 外	28	東京都		41	3,555	34	2,699	44	3,425
	29	静岡県		3	309	1	33	10	650
	30	長野県		0	0	0	0	0	0
	31	神奈川県		1	60	0	0	0	0
合 計				122	6,708	109	5,496	130	7,034

（参考）県内利用者のうち国中・郡内比率

	人口	R6年度（R7年1月末）		R 5 年度		R4年度	
		学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国中地域	631,482	66	2,347	57	2,261	62	2,372
	(79%)	(86%)	(84%)	(77%)	(82%)	(82%)	(80%)
郡内地域	169,687	11	437	17	503	14	587
	(21%)	(14%)	(16%)	(23%)	(18%)	(18%)	(20%)
県外		45	3,924	35	2,732	54	4,075
合 計	801,169	122	6,708	109	5,496	130	7,034

4 外国人利用者数

令和4年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	5	0	2	15	1	23	山梨の遺跡展 ～4/10 春季企画展 4/16～6/12
7月～9月	13	8	7	16	0	44	山の洲文化財交流展 7/16から8/28 特別展開催(甲斐の勇者)9/28～
10月～12月	20	1	4	14	0	39	特別展開催 ～11/23 冬季企画展 12/10～
1月～3月	17	3	8	7	0	35	冬季企画展 ～1/22 わたしたちの研究室 2/11～3/5 山梨の遺跡展
合計	55	12	21	52	1	141	中国39.0% 韓国8.5% アジア14.9% 欧米36.9% 他0.7%

令和5年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	13	0	11	22	19	65	山梨の遺跡展 ～4/9 春季企画展 4/15～6/11
7月～9月	18	4	7	21	1	51	特別展開催(山梨の縄文世界)7/8～9/3 特別巡回展開催(発掘された日本列島)9/16～
10月～12月	30	2	4	25	4	65	特別巡回展開催(発掘された日本列島)～10/29 山の洲文化財交流展12/9～
1月～3月	31	0	4	21	6	62	山の洲文化財交流展～1/21 わたしたちの研究室 2/10～3/3 山梨の遺跡展 3/9～
合計	92	6	26	89	30	243	中国37.9% 韓国2.5% アジア10.7% 欧米36.6% 他12.3%

令和6年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	14	5	2	24	0	45	山梨の遺跡展 ～4/7 春季企画展 4/20～6/16
7月～9月	30	3	5	13	5	56	夏季企画展 7/13～9/1 特別展(縄文時代の不思議な道具)9/28～
10月～12月	16	5	3	27	3	54	特別展(縄文時代の不思議な道具)～11/24
1月	2	3	0	4	0	9	わたしたちの研究室 1/25～2/23 山梨の遺跡展 3/1～
合計	62	16	10	68	8	164	中国37.8% 韓国9.7% アジア6.1% 欧米41.5% 他4.9%

・令和6年度の外国人利用者数は、昨年度と同程度の水準

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

別表第一 知事の附属機関(簡略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 知事の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第23条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

山梨県考古博物館協議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、博物館法第20条、山梨県附属機関の設置に関する条例（以下「条例」という。）及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（以下「規則」という。）に定める山梨県考古博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 協議会は、山梨県立考古博物館（以下「館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応じ、中・長期的な課題等について調査・審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第3条 協議会を構成する委員は、条例第4条別表第1の定めに従い15人以内とする。

2 前項15人のうち2人は公募委員とし、公募委員選考委員会要領により開催される公募委員選考委員会で選考する。

3 協議会を構成する委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 観光分野の関係者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員の辞職等により新たに委員を補充したときは、その委員の任期は前委員の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないが、原則一度限りとする。ただし、協議会の所掌事務に関し特に専門的な知識経験等を有する者又は協議会の所掌事務に密接な関連を有する団体を代表する者が当該委員以外に得難い等特別の事情がある場合は、この限りではない。

(会長等)

第5条 規則第4条の規定により、協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長及び副会長の再任は、妨げないものとする。

5 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

7 会長及び副会長は事務局が作成する議事録を確認し、必要に応じ修正等の指示を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて書面またはオンラインによる開催とすることができる。

3 協議会は、毎年2回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

5 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(傍聴)

第7条 協議会は、会長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 協議会の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事録)

第8条 協議会の議事録はこれを作成し、公開する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、館に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長は、館長をもって充てる。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営等に関して必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。